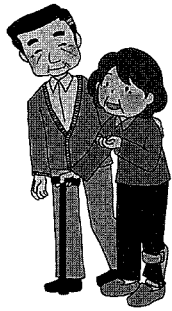


# 脳卒中後遺症の痙縮治療 ボツリヌス療法で日常動作を改善

脳卒中の主な後遺症として手足の痙縮（けいしゆく）があります。痙縮とは、筋肉が緊張し過ぎて異常な緊張（つっぱり）をもたらす症状です。その結果、自分の意思で手指が開こうとしても開きにくい、肘が曲がる、体を動かさずらくなるばかりか、介護者の力を借りても関節を動かせなくなり、着替えや入浴などの日常生活動作に支障をきたすこととなります。

現在、痙縮の治療には、内服薬、ボツリヌス療法、神経ブロック療法、外科的療法、バクロフェン髄注療法などがあります。患者さんの病態や治療目的を考慮して、リハビリテーションとこれらの治療法を組み合わせて行います。今回は治療



## 内科のアドボイスト

【ボツリヌス療法の効果】  
効果は注射後2〜3日目から徐々に現れ、通常3〜4か月間持続しますが、徐々に消えてしまいます。言い換え



のひとつであるボツリヌス療法を紹介します。

【ボツリヌス療法とは】

ボツリヌス菌（食中毒の原因菌）が作り出す天然のタンパク質（ボツリヌストキシン）を有効成分とする薬を、筋肉内に注射する治療法です。ボツリヌス菌そのものを注射するわけではないので、ボツリヌス菌に感染する危険性はありません。日本では現在、この痙縮に対する治療法としてしわ取り効果を有することでも知られています。

## 相談課からのメッセージ

赤ちゃんの誕生は大きな喜びであり、希望です。福島県助産師会では、福島市や郡山市はじめ県内各地で「子育てサロン」を開催しています。

### 助産師のいる子育てサロンへどうぞ！ 利用は無料、郡山サロンは予約が必要

赤ちゃんの誕生は、ベビーマッサージは、授乳に関する相談なども受け付けています。お母さん同士が交流できる場です。是非お出かけください。  
対象者は、生後から概ね1歳までのお子さんとそのご家族。郡山助産師会が運営する「子

育てサロン」の場合は、サロン当日1か月検診後から5か月未満のお子さんとお母さんです。サロンには、お出かけセット、バスタオルをお持ちください。「わらべうたベビーマッサージ」はじめ「ママの座談会」「なんでも育児相談」などを行います。

今後の開催日程は10月11日（水）、12月13日（水）、平成30年2月14日（水）で、会場はいずれも中央公民館です。時間は午前10時から11時半までの予定です。毎回ごとに予約が必要です。申し込み・問い合わせは福島県助産師会の子育て・女性の健康支援センター（☎024-573-0274）へお尋ねください。  
また須賀川サロンは、毎月第2・4火曜日午前10時から正午まで須賀川市大東公民

ば、基本的には3〜4か月ごとの繰り返し投与が必要ということです。決して安価とはいえないため、治療効果と費用とのバランスも考慮する必要があります。機能面、生活面については以下の効果が期待されます。①手足の筋肉が柔らかくなり、動かしやすくなって日常生活動作が行い易

くなる②関節が固まって動きにくくなったり、変形を防ぐ③手足のつっぱりを和らげることで痙縮による痛みを緩和する④介護負担が軽くなるなどが期待できます。  
【問い合わせ】  
現在、南東北第二病院でボトックス外来（隔週火曜日）を行っています。治療希望に

■ 郡山サロンの日程 ■		
日にち	場所	申込受付
29年 10月 11日(水)	中央公民館	9月 1日～
12月 13日(水)	中央公民館	12月 13日～
30年 2月 14日(水)	中央公民館	2月 14日～

館で開いています。「わらべうたマッサー」とママのためのヨガ、外部講師による講話、なんでも相談会です。詳細は須賀川サロン担当者（横田☎090-8783-1162、川崎☎090-4557-2209）にご確認ください。

については受診時に治療の適応も含めて医師と相談しながら行うこととなりますので、事前に予約を含めた連絡をお願いします。（参考：グラクソ・スミスクライン株式会社・脳卒中の後遺症「手足のつっぱり」の治療について）南東北第二病院リハビリテーション科副主任 根田英之